

はくあい

2010年春号



社会福祉法人 **真宗協会**



真宗協会 地域との災害時協力

南の森町内会へ無料健康講座実施

帯広慈光学園創立50周年

オアシスガイド 帯広大正ホームの案内

帯広慈光学園、 50歳の誕生日

帯広慈光学園では毎月、利用者の誕生日をお祝いしていますが、平成22年1月15日は帯広慈光学園の誕生日を、利用者の皆様と職員でお祝いました。会食のあと、利用者、職員全員で記念撮影。

真宗協会 あっぷごいと



調印式の様子

大空町連合自治会並びに南の森・空港南町連合町内会と真宗協会との「災害時協力に関する覚書」の締結 真宗協会

当法人では平成21年10月29日、大空町連合自治会並びに南の森・空港南町連合町内会との「災害時協力に関する覚書」を締結しました。

地震などの災害発生時に、身体に障害のある人や一人暮らしの高齢者など、災害時要援護者を法人の運営する各施設で緊急避難受入することや、避難所で生活する要援護者を支援するため、介護職員や相談員などの専門職を派遣する体制を整えることを目的としています。

真宗協会が経営する市内8施設が所在する地区を「西5条南30丁目地区」「大正町地区」「空港南町地区(福祉村地区)」の3地区に区分し、「空港南町地区」が先行して両連合町内会と協議を進め、災害時協力に関する覚書の締結に至ったものです。

当法人では今後、「西5条南30丁目地区」「大正町地区」においても、近隣町内会と災害時協力について検討を進める予定です。



覚書を取り交わした
左から大木会長、樋渡専務理事、関会長



南の森町内会へ無料健康講座開催 帯広光南病院

全国のインフルエンザの患者数が、1,000万人を突破し、帯広・十勝においても依然として猛威をふるっている中、帯広光南病院の地域支援活動の一環として平成21年11月20日、南の森コミュニティセンターを会場に、川上哲平院長による新型インフルエンザについての講演、また当院藤澤臨床検査技師から新型インフルエンザの予防方法について南の森町内会の皆様に聞いていただくことができました。

講演終了後には看護師により希望された方を対象に血圧測定、聴力測定などを行いました。

時節柄新型インフルエンザについて少しでも知っていただき、役立てていただくことで地域の皆様との繋がりができれば幸いです。

今後は是非地域の皆様にとどのような支援ができるかを考えながら活動を続けていきたいと思っています。

最後にこの健康講座の開催にあたり、町内会長の様にお多大なお力添えをいただきました。深く感謝いたします。



新型インフルエンザについての講演の風景



聴力検査なども行われた

認知症担当専門職員の活動について 帯広至心寮

平成18年「痴呆」から「認知症」へと呼称が変わり、認知症を有する人々が年々増加傾向となり、社会問題の一因ともなっています。そのようなことから、認知症についての理解を深め、その人々を地域で支援し、暮らしやすい街づくりを推進する「認知症サポーター」を全国で100万人養成することを目標とした動きが活発化しました。

帯広市においても増加傾向にある認知症に関する相談や支援体制を強化することから、平成20年4月より、市内4つの地域包括支援センターに「認知症専門担当職員」の配置が義務付けられました。地域住民からの相談・支援及び、地域住民に対する啓発活動の一環として認知症サポーター養成講座の開催、専門医療機関及び権利擁護機関との連携等、幅広い活躍を期待されています。

地域包括支援センター帯広至心寮においても、認知症サポーター養成講座の開催や認知症を介護する家族が集い、認知症を介護する大変さやその思いを自由に語り合うことで、少しでも気持ちが楽になるようにとの思いから、認知症の家族を支援する「茶話会」を企画・担当しました。

“その人が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる”この言葉を具現化することが、認知症担当専門職員の任務だと日々感じ、地域の人々が笑顔で元気になれる支援を続けて行きたいと思っています。



鉄南コミュニティセンターでの認知症サポーター講座を開催しました

帯広慈光学園50周年 帯広慈光学園

帯広慈光学園は、平成22年1月15日をもちまして、創立50周年の佳節を迎える事が出来ました。

昨年11月には、ご家族の皆様のご協力を得て、利用者の皆様全員参加による記念旅行を沖縄と十勝川温泉の二班に分かれて実施し、開設記念日当日には、ささやかながら利用者職員による会食会を執り行いました。

会食会では、帯広慈光学園開設当時の建物や、利用者の皆様の写真をスライドショーで振り返り、道東ではじめての知的障害児の施設として開設し、真宗協会の知的障害者施策の礎となって拡充発展してこられたのも、先人達の百折不撓の精神があったからこそとあらためて痛感したところです。

創立50周年の感動の時を利用者と職員で共有できた事は、誠に同慶の至りであり、ご家族の皆様はじめ、関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。



学園のホールに集まりお祝いしました



スライドショーの様子



お祝いの会食は利用者の皆様も大喜び

かしわ

みずき



知って得する オアシス

帯広大正ホーム 障害福祉サービス事業 (共同生活援助・介護)

サービス管理責任者と各グループホーム専属の世話人と連携を図りながら、利用者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神状況並びにその置かれている環境に応じて、食事提供・相談その他の日常生活上の支援を行っています。

1日の流れ

起床 6:00

給食当番は世話人と共にキッチンで朝食を作ります。

食事(朝食) 7:00

あたたかい朝ですが、朝食をしっかりおいしく食べて、忙しい一日に備えます。

仕事(出勤) 7:40

朝食後、仕事の準備を整え、各々職場へと向かいます。職場は、大正地区や中札内など広域にわたり、青果の選別や自動車整備の仕事、食品製造の会社など、業種も様々です。



食品会社での仕事

休憩 12:00~13:00

昼食は、お店でお弁当を買う方、いったん帰宅して調理して食べる方、お弁当を持っていくマメな方もいます。

仕事(退勤) 17:00

退勤後、帰宅して一休み。近隣のお店に夜食の買い出しなどに行く方も。



食後の皿洗いも自分で行います

食事(夕食) 18:00

平日の夕食も利用者と世話人とで食事をつくります。バランスの良い献立や調理器具の使用方法など、料理の仕方を練習する良い機会となっています。

自由時間 19:00

夕食後は、入浴や余暇を楽しむ時間となります。音楽を聴いたり、テレビを見たり、利用者同士で楽しくお話したり、大切なリフレッシュタイムです。また、次の日の給食当番は、この時間で明日の朝食の下準備を済ませます。



大正農協農産センターでの仕事

就寝 22:00~23:00頃

翌日仕事であれば、早めに就寝。休日ならばちょっと夜更かしも。利用者それぞれのペースで生活します。

スガイド

～施設紹介～

帯広大正ホームとは、大正市街にある4つのグループホームの総称です。女性4名1ヶ所と男性4名3ヶ所です。

～毎月の生活平均収入・支出状況～

収入状況		
給与平均	約 85,000円	お小遣い月平均 約 25,000円
障害者基礎年金収入平均	約 67,000円	生活費支出平均 約 90,000円
収入合計	約152,000円	支出合計 約115,000円



ほろろ

おんぼ

1日の流れ (休みの日)

起床 7:00

休日の朝は少しのんびり。給食当番は朝食の準備があります。休日は世話人の手伝いもなく、利用者だけで食事づくりをします。



食事作りの様子

食事(朝食) 7:30

気分的にもゆとりのある朝食です。

余暇時間 8:00~

ホームでゆっくり日ごろの疲れを癒したり、大正町内を散歩したり、帯広市街まで出掛け映画やコンサート、買い物を楽しんだり、休日らしく思い思いに過ごし気分転換します。帯広まではバスを利用します。時には職員と一緒に交通機関利用の練習をします。



包丁も上手に使えるようになりました

食事(夕食) 18:00

土日の昼食夕食は、利用者各々で済ませます。外出した方は外食を楽しんだり、ホームで過ごしている方は、食材をそろえて調理したり、自由に食事をします。



おいしそうなお食事が完成しました

自由時間 19:00

夕食後、給食当番は、この時間で明日の朝食の下準備を済ませます。

就寝 22:00~23:00頃

楽しかった休日も終わりです。明日からまた忙しい日々です。



ご家族との昼食会行事

※このほか休日を利用して、美容室などに出かける方もいます。
 ※定期的に通院している利用者もいます。大正町内の診療所で受診する場合には自分で通います。帯広市内の病院を受診する場合は、世話人が病院までの送迎も行います。
 ※春先や秋口、衣替えに合わせて衣類の購入を目的に買い物に行くことがあります。生活日用品の購入など、自分で生活環境を整え、さらなる自立に向けた生活技術を身につける大切な機会となります。
 ※各グループホームの、利用者同士の交流とレクリエーションを兼ねて、旅行や外食に楽しく出かけることもあります。
 ※週末や長期休暇には、自宅に帰省し、ご家族と過ごす方もいます。

ご連絡問い合わせは、帯広マイトリー内 **帯広大正ホーム** TEL 0155-64-4020

真宗協会は医療・老人・障害の総合福祉法人です。

医療福祉

無料又は低額診療施設

帯広光南病院



地域の健康を担う
新たな病院像の創造へ

知的障害者更生施設

帯広慈光学園



笑顔の支援
利用者と歩んだ50年

養護老人ホーム

帯広信楽苑



生きる喜びを
共に感じたい

知的障害者更生施設

帯広はちす園



共に生き・共に歩く

老人福祉

特別養護老人ホーム

帯広至心寮



相手に寄り添う真なる
心のサービスの実践

障害者福祉

知的障害者通勤寮

帯広マイトリー



地域に向けての第一歩

特別養護老人ホーム

帯広慈恩の里



たくさんの方々の笑顔のため
のチームケア

知的障害者更生施設(通所)

帯広やわらぎ園



自立への第一歩



社会福祉法人
真宗協会

本部事務所

住所：帯広市西5条南 30 丁目19番地
TEL: 0155-24-5561 FAX: 0155-24-5561
URL: <http://www.shinsyukyoukai.jp>